©Yukiko Shibuya

Artist File 02

鈴木　舞（すずき　まい）

▶ジャンル
ヴァイオリン

▶所属マネジメント
株式会社ブルーシート
〒107-0061
東京都港区北青山2-7-13　プラセオ青山ビル３F
TEL：03-6275-1616

担当マネージャー：
渡辺 誠司　watanabe-s@b-sheet.jp

▶アーティスト在住地
神奈川県川崎市

▶アーティスト出身地
神奈川県川崎市

プロフィール

国内外で活躍するヴァイオリニスト。卓越したテクニックと豊かな音楽性で聴衆を魅了し、ソリストとして欧州、アジア、南米ツアー等、世界各地でリサイタルやオーケストラに招かれ、精力的に演奏活動を重ねている。

研鑽歴

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。ローザンヌ高等音楽院（スイス）、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学（オーストリア）、ミュンヘン音楽・演劇大学（ドイツ）で計８年間の研鑽を積み、ディプロマおよびドイツ国家演奏家資格を取得。清水高師、ピエール・アモイヤル、インゴルフ・トゥルバン各師に師事。

2012－13年度　文化庁芸術家在外派遣研修員
2015－16年度　ローム ミュージック ファンデーション奨学生
2017－19年度　メニューイン・ライブミュージック・ナウ（ドイツ）奨学生

主な受賞歴

2005年　大阪国際音楽コンクールグランプリ
2006年　高校２年生で日本音楽コンクール第２位
2007年　チャイコフスキー国際コンクール最年少セミファイナリスト
2011年　アンリ・マルトー国際コンクール（ドイツ）ファイナリスト
2013年　ヴァーツラフ・フムル国際コンクール（クロアチア）優勝
　　オルフェウス室内楽コンクール（スイス）第１位
2016年　スピヴァコフ国際コンクール（ロシア）第２位
2018年　コープ ミュージックアワード室内楽コンクール（イタリア）第２位

活動歴

国内外のオーケストラと共演し、これまでにニコラス・ミルトン、ヨルマ・パヌラ、小林研一郎、円光寺雅彦らの指揮のもと、読売日響、東響、日本フィル、スイス・ローザンヌ室内管、ドイツ・ホーフ響、クロアチア放送響などとソリストを務めてきた。

また、宮内庁主催の皇居桃華楽堂御前演奏会に出演。NHK-FMリサイタル・パッシオに出演。シャネル・ピグマリオン・デイズ・アーティストに選出。サントリーホール、王子ホールなど主要ホールで公演を重ねている。

近年では、日本の伝統文化とのコラボレーションにも意欲的に取り組み、日本舞踊五耀會、尾上流・尾上菊保、尾上菊之丞との共演のほか、胡弓奏者・高橋翠秋、箏奏者・米川敏子とのアンサンブルも好評を博している。

録音

東京交響楽団と録音したベートーヴェン、マスネの演奏が日経ミュージックセレクションCDに収録。

デビューアルバム『Mai favorite』（キングレコード）は、レコード芸術誌にて準特選盤に選出された他、三菱一号館美術館「ルドン、ロートレック展」のオーディオガイドに採用される等、録音活動でも高い評価を得ている。

2025年３月には、ピアニスト福原彰美とのデュオCD『翼』（ティートックレコーズ）をリリース。

使用楽器

株式会社atsumariを通じて貸与されている1682年製のNicolo Amati “Grand Amati”で、ストラディバリウスを含む三大銘器のうちの一つ。

自己アピール

●音楽に向き合うことは、人と向き合うこと

私にとって音楽は、ただ美しく演奏するものではなく､「生きること」と深く結びついています。幼い頃から、嬉しい時も、辛く苦しい時も、常にそばにあり、音楽が持つ「心を受け止め、包み込む力」に支えられ、救われてきました。そして、演奏活動を続ける中で、音楽が、演奏を聴いてくださる方々にも同じような影響を与える瞬間を目の当たりにしてきました。

これまで、多くの国や地域で演奏する機会に恵まれましたが、特に印象に残っているのは、福祉施設や病院での演奏です。長年感情を閉ざしていた方が涙を流しほほ笑む瞬間、寝たきりの方が演奏を聴いて目を覚まし、家族と再び会話を交わす瞬間 ― 音楽が、言葉を超えて人の奥深い部分に触れ、心に光を灯す場面に立ち会いました。こうした経験から、私は、演奏を通じて人と真剣に向き合い、心を通わせる音楽を届けたいと考えています。

●私が音楽に込める想い

私の演奏について、「圧倒的な表現力がある」「同じ曲でもあなたが弾くと凄みを感じる」と言っていただくことがあります。それは、楽譜の奥にある作曲家の想いを深く掘り下げ、そこに自分自身の経験や感情を重ねてきたからだと思います。私は、演奏とは単に音を再現することではなく、音楽が持つ力を引き出し、それを聴く人と共有することだと思います。

●銘器アマティとともに

現在、私は銘器アマティをお借りしています。ストラディバリの師として知られる名工アマティによる傑作“Grand Amati”。17世紀から大切に受け継がれてきたこの楽器は、長い歴史や人々の想いが宿り、深く豊かな響きを生み出します。私がこの楽器に惚れ込んだ理由は、美しい音色だけではなく、音楽の力をより「届けられる」素質があると感じたからです。この楽器が秘めた素質を最大限に引き出しながら、音楽の力をより多くの人に届けたいと思っています。

●音楽を「体験」として届ける

私が目指すのは、ただ聴くだけで終わるコンサートではなく、その場にいる全ての人が、音楽を通じて何かを感じ、考え、心を揺さぶられるような体験です。この事業を通じて、それぞれの地域や聴衆に寄り添ったコンサートを創り上げ、音楽が持つ力を感じられる体験を届けたいと考えています。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

●心に届くコンサート

コンサートについては、私の表現力と銘器アマティの豊かな響きを生かし、聴衆が能動的に関われる音楽体験を創ります。例えば、曲の背景とともに、作曲家の言葉を超えた想いを共有することで、より身近にかつ深く味わえ、また、有名な楽曲も全く違う聞こえ方となることを体感できるプログラムを目指します。

●音楽の可能性を広げるアウトリーチ

アウトリーチでは、音楽を「受け取るもの」から「感じ、考え、さらには表現するもの」へ。資格を取得した対話型芸術鑑賞の手法を活かし、自由に感じ、表現できる場を目指した、想像力と感性を育むプログラムを実践します。

・アウトプットの機会作り：「この音からどんな動物が見える？」「どんな風景が浮かぶ？」などと段階的に問いかけ、言葉や絵で表現する機会を作る。
・感情と経験の結びつき：楽曲の持つ感情や流れを感じ取り、自分自身の経験と重ねて考える。
・ヴァイオリンをより身近に：楽器の特性や表現の幅を実際に体感する。

●シチュエーションに合わせたプログラム作り

音楽は、場所や聴く人によって響き方が変わるものです。私はこれまで、ホスピス、依存症の回復施設、戦争や迫害の記憶を持つ方々の集いなど、様々な背景を持つ人々のもとで演奏し、それぞれの聴衆に寄り添うプログラムを作ってきました。また、絵画・舞踊・朗読・邦楽など異なる芸術とのコラボや、お寺・庭園・キャンプ場など多様な環境での演奏を経験し、相手や場の特性を生かした選曲や演出を工夫してきました。こうした経験から、福祉やコミュニティの場では心に寄り添い、歴史的建築物では響きを生かし、野外では自然と調和するプログラム等、それぞれのシチュエーションを最大限に活かした音楽体験を届けます。

●音楽の力を各地へ届けるために

この事業を通じて、音楽が人の人生に寄り添い、心を照らす存在であることを、より多くの方に実感していただきたいと考えています。地域の特色や空間を活かした演奏、対話を重視したアウトリーチなど、場や聴衆に合わせたプログラムを作ります。「ここだけの特別な時間」を、ともに創り、共有できることを心から楽しみにしています。

演奏可能プログラム

バロックから現代音楽、叙情的な作品から超絶技巧を要する楽曲まで幅広く、ソロ、室内楽、オーケストラとの共演など、様々なシチュエーションに柔軟に対応できます。他芸術とのコラボレーションの多様な表現と融合したプログラムも積極的に展開しています。

【３～５分の小品】

◆クライスラー：愛の喜び／愛の悲しみ／美しきロスマリン／中国の太鼓、スラヴ幻想曲／ウィーン奇想曲◆モンティ：チャルダッシュ◆ラフマニノフ：ヴォカリーズ◆ドビュッシー：美しき夕暮れ／月の光／亜麻色の髪の乙女◆フォーレ：夢の後に／シシリエンヌ◆サン＝サーンス：白鳥◆ショパン：ノクターン◆マスネ：タイスの瞑想曲◆シューベルト：アヴェマリア◆エルガー：愛の挨拶◆ドヴォルザーク：ユーモレスク／スラヴ舞曲／我が母の教えたまいし歌◆ブラームス：ハンガリー舞曲◆チャイコフスキー：メロディ◆プロコフィエフ：３つのオレンジへの恋／５つのメロディ◆パガニーニ：カンタービレ／24のカプリスより◆ピアソラ：リベルタンゴ／鮫◆信長貴富：きらめく５月よ、そよぐ大樹よ◆平川加恵：さくらさくら変奏曲

【10～15分の小品】

◆サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン／カルメン幻想曲／ハバネラ◆ラヴェル：ツィガーヌ◆サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ／死の舞踏／ハバネラ◆ショーソン：詩曲◆タルティーニ：悪魔のトリル◆シューベルト：華麗なるロンド◆ピアソラ：ル・グランタンゴ

【ソナタ・組曲などの大きな作品】

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、フランク、サン＝サーンス、ブラームス、フォーレ、ヤナーチェク、イザイ、ドビュッシー、ラヴェル、エネスコ、ストラヴィンスキ、プロコフィエフ、等